

「学校施設の長寿命化計画(学校保全・更新計画)改定支援業務委託」特定結果

学校施設の長寿命化計画(学校保全・更新計画)改定支援業務委託について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定しました。

1 件 名 学校施設の長寿命化計画(学校保全・更新計画)改定支援業務委託

2 委託内容 (1)モデル検討をベースとした整備コストの確認
(2)学校施設の老朽化対策に係る将来コスト可視化
(3)長寿命化・改築の判断基準可視化
(4)学校施設の長寿命化計画案及び現状の管理体制への助言等
(5)その他(定例会議の主催等)

3 契約予定者 株式会社ファインコラボレート研究所

4 契約日 令和8年7月3日(金)

5 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社ファインコラボレート研究所	340点／満点400点	1
A	325点／満点400点	2
B	276点／満点400点	3

6 評価基準・評価委員会開催経過等

委員会開催日及び開催場所	令和8年5月12日(火) 13時30分～16時05分 市庁舎18階 なみき6～8会議室
評価委員の出席状況	評価委員5名中4名出席 (定足数4／5)
議事内容	提案者へのヒアリング、提案書の評価、受託候補者の特定
主な確認事項	・ 業務担当者の保有資格の状況について ・ 過去に受注した案件の業務内容および規模について ・ 建替えと長寿命化の判断に活用する基礎情報や成果物について ・ 膨大なデータベースに入力する情報の取り扱いの工夫について ・ データベース構築における費用および成果物のイメージについて
評価基準	別紙のとおり

7 問い合わせ先 教育委員会事務局学校計画課

TEL:045-671-3531

「学校施設の長寿命化計画（学校保全・更新計画）改定支援業務委託」
に関するプロポーザルに係る提案書評価基準

(1)評価方法

評価委員 1 人あたり 100 点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高いものを特定する。

(2)評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

ア 「提案内容(検証手法)」の合計点数が上位の者

イ すべての項目において「E」の評価点が無い者

	評価項目	評価の着眼点	配点
本業務における様々なニーズに対応できる実施体制と実施方針	実績と専門性	・学校施設や公共施設の長寿命化計画に関する実績があるか ・データ分析、ライフサイクルコスト算定、施設マネジメントに関する専門性が確認できるか ・実績の難易度が本業務に類似しているか	15
	本業務の実施体制と実施方針	・専門分野（建築、設備、財務、データ分析）を網羅した体制になっているか ・業務遂行の役割分担が明確で、責任体制が整理されているか ・教育委員会や学校現場との調整方針が具体的に示されているか ・スケジュール管理やリスク対応策が明確か	10
提案内容(検証手法)	老朽化コストの検証手法の妥当性	・コスト算定の前提条件（モデル検討対象外の修繕費・維持管理費等）が合理的か ・将来予測の精度を高める工夫（物価変動、エネルギーコスト等）があるか	15
	老朽化対策のコストを手法ごとに比較検証するためのデータの作成手法	・建替え・長寿命化改修の各手法を比較するためのデータ構造が明確か ・データの出所や信頼性が担保されているか ・本委託業務の履行後も、委託者による条件変更や複数条件比較ができる仕組みになっているか	15
	学校施設のライフサイクルコストの算定に必要な要素の理解	・工事費、維持管理費、修繕費費などの要素を網羅しているか ・教育環境や利用度の変化を考慮しているか ・長期的な財政負担の見える化ができるか	15
	他自治体事例、先行事例に関する知見	・他自治体の長寿命化計画や改定事例を把握しているか ・事例の分析結果を本業務に活かす提案があるか ・最新の国の動向やガイドラインを踏まえているか	15
	計画改定に繋がる提案であるか	・単なる分析に留まらず、改定計画に反映できる具体的な提案になっているか ・財政健全化や教育環境改善に資する視点があるか ・実効性のある優先順位付けやロードマップが示されているか ・少子化の進行を見据え、施設配置や施設規模の適正化に配慮した提案となっているか	15
合計			100